

地域おこし協力隊通信

特大号

発行：令和5年3月23日

ロゴマーク、決定！

「協力隊のロゴマークをつくろう！」という発案から約半年。ついに、丹波山村地域おこし協力隊のロゴマークが完成しました！

清水岳人隊員のデザインをベースに、「タバスキーを入りたい」「線はもっと太い方がいいんじゃない？」などの意見を出し合い、2月の協力隊ミーティングで決定しました。

今後、隊員の名刺や制作物などに活用していきたいと思います。



丹波山村 地域おこし協力隊

▲2月の協力隊ミーティングにて。ミーティングは自由参加で月に一度開催しています。国道通行止め時の募金箱設置のアイデアもこのミーティングで生まれました。

「協力隊通信」がウェブでも読めるようになりました

「地域おこし協力隊通信」が、丹波山村の公式ホームページから閲覧できるようになりました。令和4年5月発行分から掲載しています。



地域おこし協力隊通信

新入隊員を紹介します！

伊藤 真由(まゆ)さん

鈴木 聖奈(せいな)さん

地域おこし協力隊通信

令和4年度活動報告会を開催しました

前報久志(ひさし)さん

小林かほみ(かほみ)さん

地域おこし協力隊通信

地域おこし協力隊インターンシップの開催が予定されています

さくら園子(さくら)さん

地域おこし協力隊通信

2人の新入隊員が加わり、隊員数過去最高の17人に

前報久志(ひさし)さん

小林かほみ(かほみ)さん

地域おこし協力隊通信

新入隊員紹介

双鴨・国産413号をテーマに動画を発信！

地域おこし協力隊通信

おたけがアゲ募金箱には約4000円寄付されました！

双鴨の初回生産分が完全追加販売を開始しました

地域おこし協力隊通信

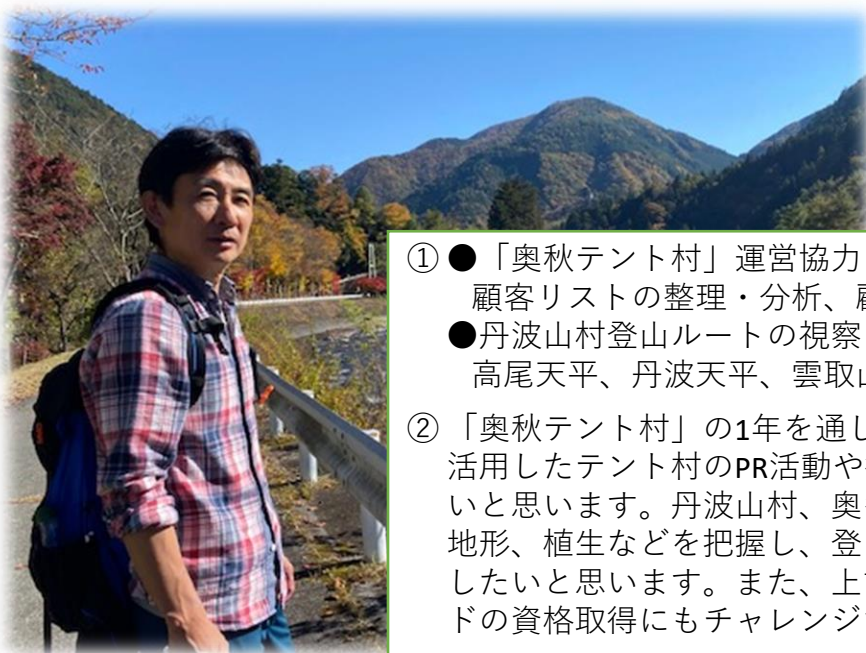
令和5年度中にご協力いただける事業者を募集しています

令和5年度中に、地域おこし協力隊インターンの受け入れにご協力いただける事業者を募集しています。地域おこし協力隊インターンは、2週間から最長3カ月の間地域おこし活動を体験してもらい、活動終了後、地域おこし協力隊としての着任や移住につなげてもらうための制度です。受け入れを希望する方は、総務課・地域おこし協力隊担当（TEL：0428-88-0211）までご連絡ください。

丹波山村地域おこし協力隊 隊員紹介

令和4年度中はインターンも含め、21人が丹波山村地域おこし協力隊として活動しました。出身も年齢も、取り組んでいる内容もばらばらですが、補い合い、協力し合いながらそれぞれの目標に向かって活動しています。現在活動している17人の隊員をご紹介します。

①令和4年度中に取り組んだこと ②令和5年度／卒業に向けて



常山 正吾

Tsuneyama Shogo

- 「奥秋テント村」運営協力
顧客リストの整理・分析、顧客対応、WEB予約導入
 - 丹波山村登山ルートの視察
高尾天平、丹波天平、雲取山、飛龍山、大菩薩嶺
- ②「奥秋テント村」の1年を通じた業務を理解し、顧客リストを活用したテント村のPR活動や従来業務の効率化をサポートしたいと思います。丹波山村、奥多摩、奥秩父周辺の登山ルートの地形、植生などを把握し、登山ガイドとしての第一歩を踏み出したいと思います。また、上記活動を踏まえた上で、自然ガイドの資格取得にもチャレンジできればと思います。

小林 かほみ Kobayashi Kahomi

- 甲武キャンプ村
荷下ろし、退居後清掃、薪割り、落ち葉処理など
 - 保育所
保育補助、献立レシピのデータ化
 - たばっこ
児童対応
- ② 新年度は、甲武キャンプ村のすべての業務に携われるよう頑張ります。ワサビ畑の開拓、新テントサイトの実現、丹波山村の料理も勉強できればと思っています。「まだ28か月ある」ではなく、「あと28か月しかない」という気持ちで取り組んでいきたいと思っています。



YEAR 1



前夷 久志

Maebisu Hisashi

① かどや旅館運營業務補助

② 新年度の活動では、旅館の仕事と並行して、丹波山村の名物となるような料理（食べもの）を考案したいと考えています。観光客はもちろん、村民の皆さまも思わず買って食べてみたくなるような手軽なもので、村内で行われるお祭りやイベントの会場、さらには道の駅などでも売り出せることを目指します。



推定樹齢が同じ年のエゾマツと▲

鈴木 梨奈

Suzuki Rina

- ① ●旧そば処 やまびこ庵の期間限定営業、配食サービス、舞茸祭への出店
- たばやま観光推進機構広報係（観光ツアーのPR動画作成、SNS運営）
- たばっこのお手伝い

② 食→観光客だけでなく、丹波山村に住む人にも、楽しんでもらえる「丹波山村の朝ごはん」の開発・販売、地場産食材を使ったお菓子の開発イベント→プロジェクションマッピングを活用した花火大会の開催



伊東 真由 Itou Mayu

① ●のめこい湯のサウナレンタル

- よってかせ～たばやまで狩猟とサウナの実施
- サウナ協議会の設立
- Twitter・Instagramでのめこい湯や村の情報を発信

② アウトドアサウナの新たなレンタルサービス「おとどけタバサウナ」をスタートし、キャンプ場等でサウナができるようになります。狩猟とサウナのようなイベントも開催していきますので気軽に遊びにきてください！

また今年の獅子舞やお松引きでは篠笛に挑戦します。文化を支える側を体験して村の肌感が伝わるような発信をしていきたいです。

丹波山が好きな人が増えるよう未熟ですがやれることを頑張っていきますのでよろしくお願いします！

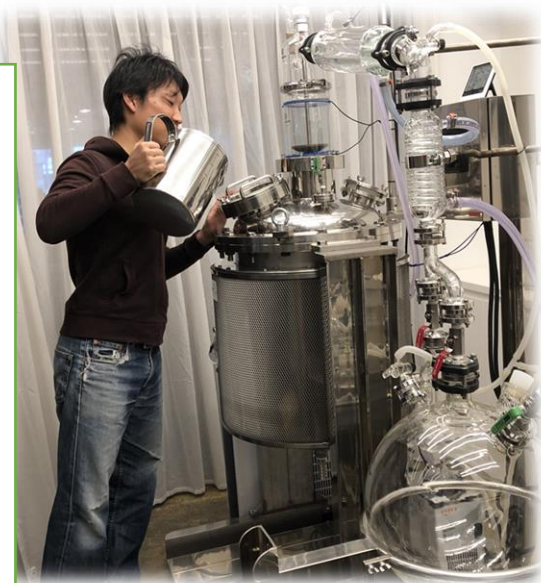


白川 裕史 Shirakawa Yuji

- ① ●灯里へ移籍し業務全般をこなせるよう努めました。
●村の伝統的な料理を継承できるよう努めました。
●地域活動へ参加し、村の文化を学びました。
- ② 村の伝統的な料理を使ったイベントを定期的に行っていきたいです。さらには村全体のイベントに対しても出来ることを模索していこうと考えています。畑仕事や登山などに挑戦したり、より多くの人と関わることでもっと村のことを知り、丹波山村について村外の人へ発信できるようにしていきたいです。

山崎 慶太 Yamazaki Keita

- ① 丹波山の舞茸を用いたジンの開発（香りの成分分析、他の素材とのブレンド、販促・販売の検討）、将来的に海外での販売を実現させるための市場調査（欧州のバーやジンの小売、蒸留所に対するヒアリング等）、ジンの開発のための様々な素材のテスト実験
- ② クラフトジンの国内市場をみると、飲み手の数に対して作り手の数が急速に増えており、少し過熱した様相です。今年度は引き続き蒸留所の建設を見据えつつも、下記のプロジェクトを進めていく予定です。
 - 蒸留スタイルの違いが香りにどう影響するかなど、ジンの研究に特化した施設の検討
 - 海外のクラフトジン販売による飲み手を増やしながらノウハウを蓄える活動
 - 今回開発した舞茸ジンの海外販路開拓



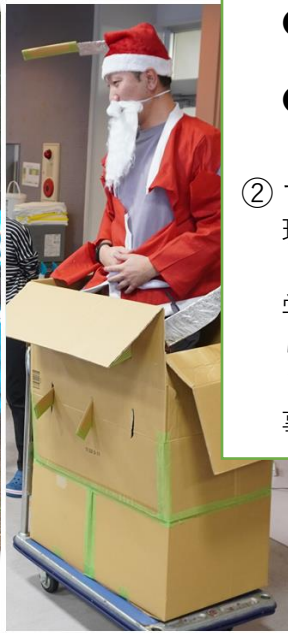
小林 寿彦 Kobayashi Toshihiko

- ① ●社協にて昼食及び、おやつ作成（4～9月）
●たばやま観光推進機構にて鮎料理、その他料理作成
- ② 令和5年3月で、協力隊の任期半分が終わります。こちらに赴任したときから、丹波山村の活性化を目標にしています。今ここに住んでいる人たち、これからここに来る人たちが楽しめるよう、そして、そのことによって経済的にも活性化するよう取り組んでいきたいと思っています。とりあえず、“田舎&おしゃれ”をテーマにお菓子を試作してみたいと思います。
例：そばシフォンケーキ・ヨモギシフォンケーキ等



樋口 雅紀

Higuchi Masaki



- ① ●社会福祉協議会デイサービスでの介護
●たばっこクラブ、丹波山観光推進機構でのマルチワーク
●文化保存会に所属し、ささら獅子舞に参加
- ② マルチワーカーとして働けるように、現在都留市と富士通と連携したプログラミングの授業を受けています。あと一年学び、IT講師の資格を取得し将来に役立てられればと思います。継続してデイサービスでの業務をお手伝いしながら、村の事業のお手伝いをしていきたいです。



廣瀬 太一

Hirose Taichi

- ① ●中型免許の取得 ●水道の管理、整備
●ゴミの収集 ●登山道の整備など
- ② 令和5年度はできる作業を増やすために、免許の取得をできるだけしたいと考えています。協力隊として最後の年なので、できるだけ知識を増やし、丹波山村に貢献できるようになりたいと思います。



宮地 功孝 Miyaji Noritaka

- ① ●やまびこ庵の運営
●鮎すしや干物等、鮎製品の製造販売
●乾燥鮎の開発、商品化 ●鮎養殖の手伝い、代行
- ② 協力隊として最終年度になるので、丹波山の鮎事業が今後も継続して行えるように、規模の拡大、知名度アップを図っていきたい。具体的には、
 - ・取り扱う品目を鮎関連に絞って売り上げアップを図る
 - ・やまびこ庵、丹波山の道の駅のみの販売ではなく、他の道の駅やスーパー等販路を広げる。
 - ・ネット販売の拡大

① ●味噌作りに挑戦!!

灯里の店内サービスのお味噌汁に使用しています。

●Wolfship Design ×灯里 コラボイベント開催

灯里を会場にした初めてのイベントを行いました。

●のっち・さとちゃんの絵本ライブ開催

村民向けのイベントを企画し大盛況でした。

②今年度もたくさんの方々から支えていただきながら楽しく過ごすことが出来ました。令和5年度は活動拠点をタバヤマベースに移し、たばっ子クラブやTABA CAFÉでの物販・買い物支援等を行いながら、今まで以上に村民の皆さんとの交流を図り、住みやすい村づくり、移住したくなる村づくりのために尽力したいと考えています。定住に向け住宅を探しています。物件を紹介していただける方、ご連絡お待ちしております!! (切実)

西山 寿恵

Nishiyama Hisae



中平 正士 Nakahira Masashi

① ●丹波山村移住定住推進協議会での移住定住促進活動

●ホームページやSNSなどでの丹波山村関連の情報発信・PR活動

●ポスターやチラシ、動画などのメディアコンテンツデザイン

②丹波山村移住定住推進協議会や、移住相談窓口業務を担う「たばやま暮らし相談室」での移住促進活動の推進とともに、その活動を村内外へPRし、人口減少などの丹波山村の深刻な課題の解決に貢献したい。個人としては、子ども向けの自然体験やワークショップ、アウトドアアパレル・グッズの事業化、安定化を進め、その経験をもとに丹波山村定住を目指す移住者や地域おこし協力隊の生活を成立させるための事業サポートも行っていきたい。



清水 岳人 Shimizu Yamato

① ●サイクル環境整備 ●やまなしサイクルツアーガイドの認定

●たばやまMTB体験会の開催、MTBコース整備

②早いもので丹波山村に住んで2年が経ち、協力隊の任期も残り1年となりました。令和5年度の一番の目標は、MTBコースを完成させて丹波山の自然を楽しめる、新しいアクティビティを作ることです!また、山梨県や近隣の自治体と協力をして自転車の魅力を広め、丹波山を盛り上げられるようにしていきます!令和5年度も頑張っていきますので今後もよろしくお祈りします!



仲野 宏樹 Nakano Hiroki

- ① ●保育所でのサッカー教室
●丹波っこくらぶ（小・中学校放課後子ども教室）
●デイサービスでの音楽活動
●「双鴨」での音楽を通したPR活動
- ② いろんな世代の方々と関わりながら
他ではできないような経験がたくさんできました。
とっても濃い、3年間でした。
本当に、ありがとうございました！！！！



望月 敬之 Mochizuki Noriyuki

- ① ●原木舞茸の栽培、物販イベントへの出店
●サミットファームの管理
- ② こんにちは、望月です。早いものでこの3月で地域おこし協力隊の任期が満了します。私が丹波山村に来たのは、2020年4月。ちょうど新型コロナウイルスが流行し始めたことでした。この3年間、狩猟、鹿の解体、原木舞茸の栽培など、たくさんの新鮮で刺激的な経験ができました。右も左も分からない私にたくさんのことを教え、経験させてくださり、本当にありがとうございました。3月で協力隊は卒業しますが、4月からは丹波山倶楽部の一員となり、村の発展に尽力します。引き続き村内におりますので、よろしく願いいたします。

▲1月に子どもが生まれました



地域おこし協力隊

地域おこし協力隊制度は、平成21年に地方創生施策の一つとして始まりました。
現在、全国で6,000人を超える人が地域おこし協力隊として活動しています。

丹波山村では、平成26年から地域おこし協力隊を採用してきました。
隊員数は年々増加し、それに伴って活動内容や
ここに至るまでの背景も多様化しています。

学校を卒業してすぐに協力隊になる人もいれば、
退職してから協力隊になる人もいます。
出身地や得意なこともそれぞれ違います。

共通しているのは、「ここで暮らしたい」と、
丹波山村を自ら選んで移住してきたということ。
そして、村のことを考えて日々活動しているということです。

この「協力隊通信」を通じて、隊員の活動の様子が少しでも伝われば幸いです。

令和5年度も丹波山村地域おこし協力隊を
よろしくお願いいたします。



丹波山村
地域おこし協力隊